

昨年度に引き続き 議会報告会 を開催しました。

報告会前半では、3月定例会の会期中に予算決算常任委員会で審議した内容を議員から報告し、引き続き参加者の皆さんからのご質問や、ご意見を伺いました。ここにその全容をお伝えします。

報告の概要

26年度予算では、行政サービス・防災拠点としての新庁舎の完成、三田駅前地区の再開発、新三田駅や相野駅周辺の土地区画整理事業など都市基盤の整備が進められます。また、産業や観光、歴史文化など三田市の魅力を広く発信しPRしていくシティセールスに力を入れ、魅力創造型予算と位置づけています。

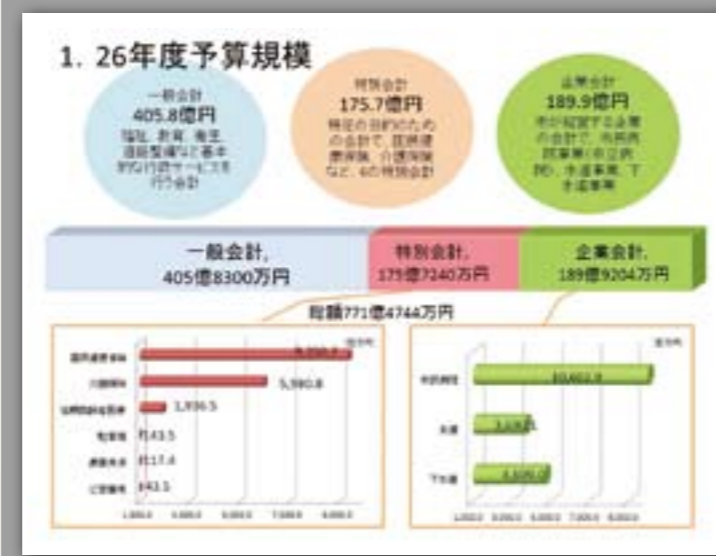
一般会計は、405.8億円で、これは福祉、教育、衛生、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。

特別会計175.7億円は、特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険など、6つ特別会計があります。

最後に企業会計189.9億円は、市が経営する企業の会計で、市民病院と水道事業と下水道事業が含まれます。

これらを合わせて、26年度の三田市の予算規模は771億4745万円となり、前年度と比べて34億円(4.6パーセント)の増となっています。

http://www.city.sanda.lg.jp/gikai/gikaihoukokukai/2014_05.html



http://www.city.sanda.lg.jp/gikai/gikaihoukokukai/2014_05.html

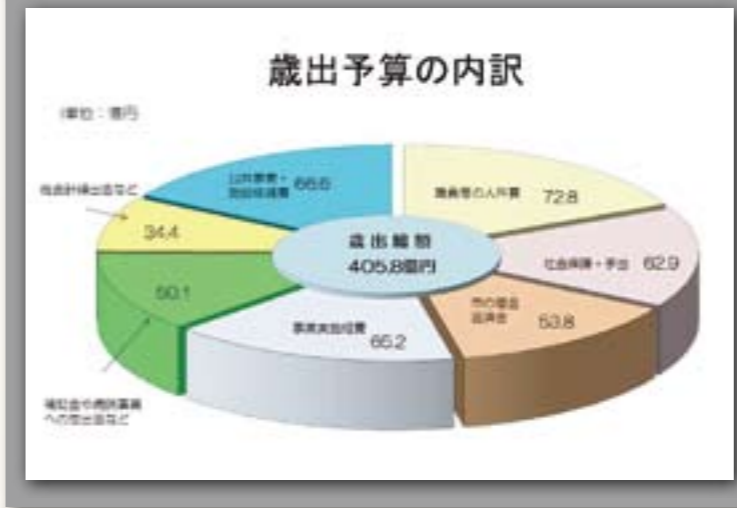


歳入予算の主な内訳

市税174.3億円は、前年度に比べ1.2億円増の見込みとなっています。基金(貯金)の活用48.3億円は、前年度に比べ26.3億円の増となっていますが、これは新庁舎の建設整備費として、基金から35.8億円繰り入れをしていることが大きな要因となっています。

また、国の補助金41.8億円は、前年度比6.5億円の増となっていますが、消費税の増税に伴う臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の約4億円の増が大きな要因となっています。

http://www.city.sanda.lg.jp/gikai/gikaihoukokukai/2014_05.html



歳出予算の主な内訳

事業実施経費65.2億円は、図書館の指定管理料や新庁舎のICT整備費、ごみの収集委託費等で昨年度より7億円の増となっています。図書館については、昨年度まで市の運営でしたので、これまでの経費はほとんど人件費として計上されていました。

公共事業・施設修繕費66.6億円は、新庁舎の整備事業費や特別支援学校整備費用、小中学校の施設改修費用、三田駅前Bブロック地区の整備等が26.3億円の増となっています。

予算決算常任委員会分科会と全体会での審議内容報告から、各1点のみ抜粋

【企画総務分科会】 企画費	【まちづくり分科会】 環境保全対策費
<p>議員 シティセールス推進事業について、シティセールスとふるさと納税はリンクするもので、他市においては特産品をコース別に分け寄付金を決めているところもあるが、具体的にどういった手法でふるさと納税という事業を展開するのか。</p> <p>市 まちの売りのツールとしてのふるさと納税をやっていく、そのためには新しい組織を作り、具体化できるように一日も早くスタートしなければならない。</p>	<p>議員 再生可能エネルギーの推進事業について、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの利活用に向け積極的に調査、研究すべき。</p> <p>市 風力、水力、バイオマス等についても研究を行ってきたが、本市の環境と照らすと太陽光発電の効率が突出して良いことから、公共施設の屋根貸しの取り組みを先行し、他については、今後の技術革新や費用の低廉化を注視しながら研究を続ける。</p>
【福祉文教分科会】 児童福祉総務費	【全体会(総括質疑)】 学校給食のアレルギー対策について
<p>議員 認定こども園・認可外保育施設利用者助成事業費について、月額保育料と認可保育所に入所した場合の保育料との差額から1万円を差し引いた金額を補助額としているが、やむなく認可外保育所に預けている保護者に対して公平性の面から問題があるのではないかと。</p> <p>市 「子育てするならゼッタイ三田」を標榜する中で、当該事業についても年々拡充してきている。この差額についても平成27年度から始まる新制度を見据えた形で検討していく。</p>	<p>議員 学校給食におけるアレルギーを持つ児童、エビペンを所持している児童は何人いるのか、給食での誤食発生時のマニュアルは確立できているか、アレルギー対象者の配膳容器を色分けできないか、主治医と連絡をとるマニュアルはあるか。</p> <p>市 アレルギーを持つ対象者は235人、エビペン所持者は21人でクラス担任や学校間で共有認識している。配膳容器は色分けしている。エビペン所持者の主治医との直接の連絡体制は今後対応する。</p>

説明 *バイオマス：もともとは生物体量のこと。今日では一般的に、排せつ物や生ごみ、木くず等の再生可能な生物資源を指す。
*エビペン：食物などによるアレルギー症状を起こした本人が、緊急的に注射することにより、医師の治療を受けるまでの間症状の進行を一時的に緩和する自己注射薬